

1. 勝川駅周辺地区の概要

この地区はつぎのように位置づけられています。

歴史的な位置づけ

この地区は、かつては東春日井郡の中心地として発展しましたが、町村合併による市制施行後、都市機能の中心が鳥居松地区に移行したことによって、現在では、本市西部地域の拠点地区としての位置づけにあります。

<旧町村界>



商業上の位置づけ

本市の都市核は、鳥居松地区ですが、勝川駅周辺地区は駅前立地型の商業地としては市内随一の規模を有し、本市西部地域を商圈とする地域サービス型の商業地(副次核)と位置づけられています。

交通上の位置づけ

この地区は、国道19号線と302号線(名古屋環状2号線)が交差するなど、名古屋都市圏北東部の広域道路網の結節点となっています。また、勝川駅は、本市の中で最も名古屋市に近い駅であることから、名古屋市方面への通勤駅としての性格を持ち、本市の交通拠点の一つとして位置づけることができます。

<主要交通網>



市街地形成上の位置づけ

この地区は、古くから市街化され、既に成熟した状態にあります。一方、周辺部においては新たな市街地が形成されています。

まちづくりの目標と基本方針をつぎのように掲げています。

この地区は、本市西部地域の拠点地区としての位置づけにあり、広域的には名古屋都市圏北東部の交通拠点として重要な役割を果たしていくことが期待されています。

そこで、「春日井市の西の玄関づくり」をまちづくりの目標とし、かつて繁栄した古き良き勝川の再生といった意味をこめて「ルネッサンスシティ勝川」をテーマに、6つの基本方針を柱としたまちづくりを進めています。

<目標>

春日井市の西の玄関づくり

テーマ「ルネッサンスシティ勝川」

<基本方針>

1. 鉄道高架化に伴う南北一体の玄関づくり
2. 玄関にふさわしい都市基盤整備と建築誘導
3. ターミナル化による交通拠点の形成
4. 都市機能の集積による地域サービス拠点の形成
5. 商店街の再編による近代化・活性化の促進
6. 住環境の改善による人口定着の促進

勝川駅周辺の整備計画図

